

お名前		TEL		FAX	
ご住所	〒				
E-mail					
お申込み内容	1回券		2回セット券		
	<input type="checkbox"/> 10月1日(日) _____ 枚	<input type="checkbox"/> 12月3日(日) _____ 枚	_____ セット		
<input checked="" type="checkbox"/> をお願いします。					

ビジネスの世界で活躍している卒業生の多い一橋大学だが、内外のステージで活躍する二人の異色の音楽家がいる。一人はコントラバス奏者の河原泰則さん(1973年商学部卒、'77年ベルリン芸術大学首席卒、ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位入賞、'80~2011年ケルン放送交響楽団首席コントラバス奏者、ミュンヘン国際音楽コンクール審査委員長)。

もう一人が渡邊順生さん(1973年社会学部卒)。幼少からピアノを学んでいたが、銀行マンの父上から「音楽は男子一生の仕事にあらず」と言われて已むなく一橋に入ったとのこと。折しも、全国的な大学紛争で授業は殆どなく、チェンバロに没頭。卒業後直ちにアムステルダム音楽院に留学し、巨匠レオンハルトに師事。首席卒業はもとより「プリ・デクセランス」を受賞。オランダの教育課程で数年に一度しか授与されないといつもない賞である。

'80年に帰国以来、古楽器演奏の啓蒙と普及に努め、精力的に活躍。2005年に始まった「くにたち兼松講堂 音楽の森コンサート(=兼松講堂如水コンサート)」にも指揮者・古楽器奏者として度々ご出演をお願いし今日に至っている。

とりわけ、『バッハ/ヨハネ受難曲』(2010.5)、『モンテヴェルディ/ポッペアの戴冠』(2011.11)、『モンテヴェルディ/聖母マリアの夕べの祈り』(2014.10)、『ヘンデル/メサイア』(2015.11)の大規模声楽曲やオペラは聴衆にとっても忘れ難い名演である。

ボランティアチーム如水コンサート企画

渡邊順生 Yoshio Watanabe



チェンバロ、クラヴィコード、フォルテピアノ奏者、指揮者として活躍。論文執筆や楽譜校訂も手がける。2010年度サントリー音楽賞受賞。アムステルダム音楽院にてソリスト・ディプロマ及びプリ・デクセランスを取得。グスタフ・レオンハルトらにチェンバロを師事。ブリュッヘン、ビルスマ、エルウィス、エグモント等、欧米の名手・名歌手たちと多数共演。ソニー、創美企画、コジマ録音、セシル・レコードより多数のCDをリリース。

『モーツァルト：フォルテピアノ・デュオ』[共演：崎川晶子](コジマ録音、2006)及び『フレスコバルディ/フローベルガー：チェンバロ作品集』(コジマ録音、2016)でレコード・アカデミー賞受賞。著書『チェンバロ・フォルテピアノ』(東京書籍、第3刷2009)で好評を博す。『バッハ・古楽・チェロ~アンナー・ビルスマは語る~』(アルテス・パブリッシング、2016)もまた新聞・雑誌等で絶賛されている。上野学園大学客員教授、東京音楽大学、桐朋学園大学講師。

